

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第24回助成事業 審査講評

### まちづくり活動部門

#### 【3回目応募グループ】

##### < 4-1 ZUTTO-KOKO >

- ・認知症の方や家族のケアはますます重要なテーマだともいます。カフェという参加しやすい場を活かした取り組みに期待しています。関連する行政機関や団体との連携も心掛けていただければ。
- ・12年に亘る取り組みの着実さを実感した。よくぞここまで活動を広げてこられたと思う。地域で認知症の方を支える先進的な取り組みだと感じるし、長く取り組みを続けてきた価値を感じられる。世田谷まちづくりファンドとして助成が出来るのはこれで最後になるが、ぜひ活動の実績を絶やさないように続けて頂きたい。
- ・貴グループがアプローチしている社会課題は、今後さらに重大なものとして取り上げられてゆくと考えられ、その状況下で貴団体の取り組みは先導的位置にあると思われれます。今年度でまちづくり活動部門の助成も終わりますので、この一年間を掛けて今後の安定的な運営の基礎を築いていただけるよう期待しています。審査会当日に他の委員から指摘があったように、自分たちスタッフが講師としての役割を果たせるようになれば、経営面においても他所が参考にしたくなるモデルになり得るのではないのでしょうか。

##### < 4-2 椎の木のしいのみたち >

- ・取り組みとしては大変素晴らしいと思う。しかし、次年度以降の展開＝身近な人たちでボランタリーにサポートできる範囲内で続けていく、という考え方を聞くと、冊子を作成する意味があまりないように思う。利用者に活動成果を還元したいのであれば、利用者負担の自費出版であるべきだと思う。

- ・地域共生の家を利用して、高齢者から学生さんまで巻き込んで活動を継続しているということは、まさに世田谷のまちづくりのお手本のような活動だと考えられます。ぜひ貴会の活動の歴史を冊子にまとめて、これからまちづくり活動をしたいと考えている人たちの参考書にしてください。
- ・規模は決して大きくはないのですが、他ではなし得ない特別な活動を展開されていると考えます。今回の企画は、そんな小さな活動が大きく広がることを企図したものであり、それはまさに「まちづくり」であると確信しています。作られる冊子が、必要とする人々や場所に行き渡り、芽となり花が咲き、沢山の実を結ぶことを期待しています。まちづくり活動部門の助成は今年で最終年ですが、どうかオーナーさんもスタッフの皆さんも、無理のない範囲で活動をつづけていただけたらと願っております。

#### < 4 - 3 世田谷区スポーツ鬼ごっこ連盟 >

- ・ここ数年の取り組みで、スポーツ鬼ごっこが地域のつながり形成にどのように役立つのか、大変貴重な実験ができたのではないのでしょうか。どんな地域でも応用できる非常に可能性の大きい活動だと思います。本年は、助成ができず申し訳ありませんでしたが、世田谷カップはぜひ実現していただけたら幸いです。
- ・スポーツ鬼ごっこのすばらしさを協会との連携で区民に伝えていきたいとの主旨で申請記載があり、実施スケジュールでは体験会や世田谷カップの実施とあり、普及を目的とした活動と感じました。鬼ごっこはルールが簡単で、誰でも楽しめるものであると思いますので、広まると良いですが、健康づくりや地域交流・活性化を打ち出した活動での展開に欠けている点が残念です。
- ・初年度から一貫して、スポーツ鬼ごっこを普及させたい団体であるという印象しか持てなかった。最終年のプレゼンでも、同様にスポーツ鬼ごっこの普及という観点でしか語られていない印象があり、大変残念だった。取り組み自体に価値がないとは全く思わないし、スポーツ鬼ごっこで救われた子どもたちもいるのだろうと思うが、それが世田谷まちづくりファン্ডとして応援すべき取り組みだと言う

ことをご自身の言葉として納得感のある形で提示頂きたいなと感じた。

- ・確かに、子ども達にとって、「スポーツ鬼ごっこ」は他のスポーツに比べて相対的に参加しやすいかもしれませんが、他方、そのライセンス制度が要求する指導資格習得コストや指導者への謝金支払いの発生は、競技の質や安全性確保に必要なのかもしれませんが、誰にでも気軽に楽しめるはずの鬼ごっこを頻繁に実施したり、普及したりする上での障害になっているように見えます。この課題の解決には、貴グループとも協力関係にあるプレーパークの運営方法がヒントになるかも知れません。日常的に子どもたちが集い、楽しめる遊びの場づくりのニーズは益々高まっており、今後の活躍を期待しております。

#### < 4 - 4 街の木を活かすものづくりの会 >

- ・思い出のある樹木が伐採されるなら、まず「まちもの」に相談しよう。そういう文化が根付いてきたようです。世田谷の大きな財産ですね。今年は、子どもの体験デザインに挑戦されるとのこと。ぜひ多くのファシリテータを育て、子どもの地域の樹木に触れる機会を広げていってください。期待しています。
- ・伐採された街路樹や公園の樹木等は廃棄されていたが、その樹木の再利用を通して区民が豊かな生活を過ごせるようになってきた活動は高く評価できる。また、「グリーンサポートせたがや」との活動は樹木を通して人の「命の尊さ」へも繋がる活動で、今後の多様な活動が期待できる。
- ・子ども向けの活動は、この部門だからこそできる、と仰っていたのが印象的でした。であれば、徹底的にこの機会を活かして、キラ星部門では得られない、まちモノの会の共感者を増やして頂けるよう期待しています。

#### < 4 - 5 一般社団法人 グリーフサポートせたがや >

- ・キラ星応援部門も活用しながら、街の木を活かすものづくりの会とのコラボレーションで展開されるということで、まちづくりファンドというしくみを最大限活用した成果が生まれそうでとても楽しみです。本活動で得られた知見が、他のファンド団体にも共有されるといいなと思いました。
- ・まちづくりファンドの仕組みを上手に活用されて、よくぞここまで成長してきたというのが素直な印象だった。この取り組みは、世田谷だけで終わらせるのはとても勿体ないと思う。ぜひ一般部門の最後の1年間で最大限に活かし、またキラ星のメンターからの支援を十分に活かし、成長を。
- ・グリーフサポートの啓蒙活動としてのイベントを数多く重ねながら、今年度はファンドで知り合った「マチモノ」と協働するという事で、どのような化学反応が起きるのか、来年の最終報告がとても楽しみです。
- ・何度も繰り返し申し上げますが、貴グループが取り組む活動のテーマは現代社会に必要な極めて重要なものです。設立時から、従来部門、そしてキラ星応援コミュニティ部門を受けての活動を横目で拝見しておりますが、より多くの方々の支持や共感を集めるためのコミュニケーションスキルが目まぐるしい向上や活動展開手法の急速な進化などを目の当たりにし、ただただ驚かされ、感銘を受けております。他方で、貴グループの活動がメンバーの皆さんの熱意に依拠したボランティアなものであるという現実も伺っています。今後もこの活動が益々多くの人々の知るところとなるために、活動が継続的・安定的に営まれるような収入源の開発を大いに期待しています。